

# 踏み跡 <My Mountains>

富士山	滝沢林道ほか(きのこ探し)	No.315
-----	---------------	--------

きのこ探しを始めてもう何年位になるだろうか？きのこに関する各種情報を探っていると富士山の滝沢林道がよく登場する。一度行ってみたいと思って旅のプランを練って来たが、遂にチャンス到来。河口湖南岸の山中にあるフィットリゾートというホテルに二泊して、夫婦できのこ採りの山歩きをしてみることにした。

平成22年9月27日

10時半自宅を出発、幸先よい雨の中のスタート。談合坂SAで昼食と大休止。一の宮御坂ICで下りて御坂トンネルを抜けて河口湖に着いた時にはもう小雨程度になっていた。勿論この天候では富士山は見えない。ホテルの場所を確かめた上で下見と称して船津口登山道に入り、富士桜別荘村を右回りに回って天神山入口へ。次は吉田口登山道に入って、中の茶屋から滝沢林道に入って見た。しばらく走ったら大雨になってしまい、きのこ探しどころではなくなってしまった。慌てて下って見たら曇り空に戻ってしまった。早目にホテルに戻ってゆっくり休養。夜になったらまた雨が降って来た。

平成22年9月28日

朝起きてまずは空模様の確認。小雨が降っているが、やがて上がりそうな気配の空模様なので、予定通り滝沢林道に再挑戦することにした。リゾートホテルなので、雨で退散した時にはプールにでも入って時間が潰せばというバックアッププランまで考えたが、朝食が済むころには雨も上がって曇り空になって来た。鳴沢、勝山道の駅などのお店に出ているものをチェックした後吉田口登山道に入り中の茶屋へ。中の茶屋の周辺は赤松、唐松の林が美しい。二俣を左に折れて滝沢林道に入る。走りながらきのこポイントを探して車を止め、雨具に身を包んで林の中へ、林から抜け出て車に収穫物をしまつて次の場所へ移動。この動きを何度となく繰り返すが、林は時にはヤブであったり、収穫物がないこともあったり様々。ほぼ霧に包まれており、一歩間違えば駐車場まで戻ってこられない可能性もあるので、道路を離れてヤブに入る前に磁石で方角を確認し、目印になるような大きな木を見つけておく。そして、お互いの位置と無事の確認を目的に時々声をかけ合わなければいけない。長年の山歩きでのヤブこぎの経験が役に立つ。声のかけ合いは、「何かあった？」「オー、あるある」というやりとりであったり、「ないねえー」であったり様々。小富士の北面の海拔1800m位の場所まで進んだ所で折り返すことにした。本日の収穫はイグチ・タマゴタケ・ナラタケ等々、まずまずのでき。中の茶屋に戻り、吉田口登山道を馬返しまで歩いて行って見ることにした。樹林帯の中の気持ちの良い登山道で、ここを歩くだけで(富士登山などしなくても)十分に気持ちが良い所だ。馬返しには駐車スペースがあるだけで、あとは赤松と唐松だけ。晴れ間が見えてきたが遠望が楽しめるほどではない。ここまで来て見上げる富士山は、裾野をひいた秀麗ないでたちとは似ても似つかない大きく広がった幅広い山で、しかも雲の中に首を突っ込んでいて形もわからない。下り道でも左右のヤブに入ってきのこを探しながら、たっぷり時間をかけて下った。16時半にホテルに帰着。

平成22年9月29日

最終日の朝は青空が迎えてくれた。富士山も雲の上から顔を出して、シャッターチャンスを提供してくれた。



## 踏 み 跡 <My Mountains>

もう一度滝沢林道に入って見たくなり、タイムリミットを午前中だけと決めて出発。  
下山の途中で北側遥か下の方に西湖と河口湖を見ることができた。  
帰路は山中湖北岸を走って山伏峠へ、そして道志村・相模湖経由で相模湖 IC から中央自動車道に入った。  
きのこの他に道の駅などの売店を覗き歩いて買った色々なものを土産にして帰った。  
天候の割にはたっぷりと楽しむことができる山旅だった。

以上